

令和6年度 県立広島大学公開講座

浮世絵師 歌川国芳 猫を描く

— 「もしも猫展」 開催にちなんで —

現在では奇想の画家として若い人にも知られる歌川国芳（1797－1861）ですが、彼が生きた時代には武者絵の国芳として名を馳せていました。実のところ彼は、役者絵や名所絵、美人画、戯画、春画まで様々な分野に名作を残しています。そうした多彩さから、これまでも様々な切り口で紹介されてきた国芳ですが、今回は猫好きとしても知られる彼を、文字通り「猫」をキーワードとしてご紹介します。※講座後に浮世絵の実物(宮島学センター蔵 ただし、「もしも猫展」には出品されていません。)を一部観覧できます。

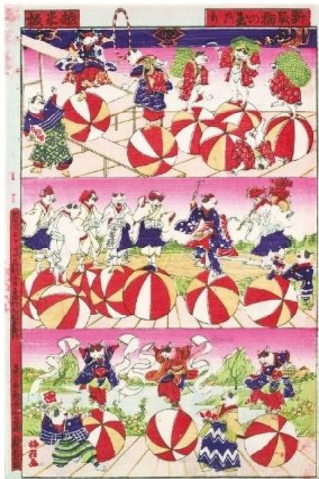
講師：広島県立美術館 主任学芸員 角田 新



「大新板猫のいしよう付」個人蔵※



歌川国芳「猫の百面相 忠臣蔵」個人蔵※



歌川国利「新版猫の玉のり」個人蔵※



歌川国芳「流行猫の曲鞠」個人蔵※

※は「もしも猫展」でご覧いただけます。

◆日時◆ 11月23日（土）13時00分～15時00分 ※12時30分～受付開始

◆会場◆ 県立広島大学 広島キャンパス 1175講義室 ◆受講料◆ 無料（定員：100名）

◆お申込◆

下記のQRコードから直接お申込みいただくか、往復はがきにて往信面の裏に、①郵便番号②住所③お名前（ふりがな）④電話番号⑤メールアドレスを、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、お名前（「〇〇〇〇」様）をご記入の上、以下の宛先にお送りください。

【宛先】〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71

県立広島大学地域連携センター「歌川国芳 公開講座」係

※申込み期限：11月19日（火）まで！



【連絡先】 県立広島大学 TEL：082-251-9534 ✉ kouza@pu-hiroshima.ac.jp